

日豪相互訪問による交流促進

1 岩手県釜石市 - 日豪小学生の交流とオリンピック関連機関等の訪問 -

- 釜石キッズラグビー国際交流プログラム（2018年9月14日～17日）に、オーストラリアの子供達を招き、釜石小学生の国際交流意識の向上を図った。
- 元オーストラリア代表のスコット・ファーディー選手を釜石に招いた際の、市民、子供達との交流を収録したプロモーションビデオを活用しながら、オーストラリアラグビー関係者に対して、復興支援の感謝を伝えるとともに、釜石市のPRと東京2020大会時の当市への招致、交流をオーストラリアを訪問し呼びかけた。（2018年11月4日～11日）



釜石キッズラグビー国際交流プログラム
集合写真



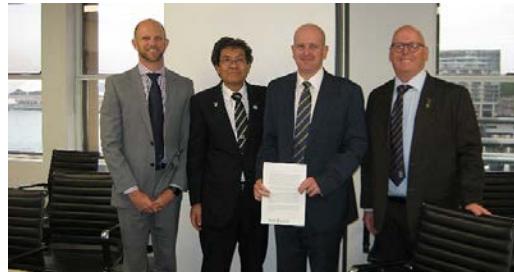
国際理解教室の様子



太鼓の体験



ラグビー協会との協議



オリンピック委員会訪問



タムワース市長、市議会訪問

本件の問い合わせ先
釜石市 生涯学習文化スポーツ課 0193-22-8835

ドイツによる復興支援や食・文化の学習とドイツ訪問

2 岩手県雫石町 - ポスター制作を通じた復興支援と復興状況の再認識と発信 -

- 震災時の支援活動への感謝の気持ちや復興状況を発信するメッセージ性のあるポスターを中高生が制作し、町民の大会機運並びにドイツチーム応援の機運醸成を図った。
- ドイツ人の義足アスリートによる講演会やシェフによる料理教室を通じてドイツの食・文化を学んだ。
- ドイツオリンピックスポーツ連盟等を訪問（2019年2月24日～3月1日）し、ポスターを制作した中高生が復興支援関係者にポスターを直接手渡すことで制作に込めた思いを感じてもらうとともに、やバーデンヴュルテンベルグ州議会等を訪問し、大会後交流について要望した。



ポスター制作講座



ドイツ人義足アスリート
「ハインリッヒ・ポップ選手」講演会



ドイツ料理教室の様子



ドイツオリンピックスポーツ連盟内、
ドイツスポーツユース訪問



バードヴィンフェン市役所（市長）
訪問



バーデン・ヴュルテンベルク州議会
表敬訪問

本件の問い合わせ先
雫石町 生涯学習スポーツ課 019-692-4181

米国訪問による交流促進 3 岩手県大船渡市 - 米国訪問でのホストタウン交流にむけた協議の実施 -

- 全米陸連を訪問し、市の紹介と震災からの復旧・復興、新たなまちづくりの過程を説明するとともに、事後交流に向け当市で希望する交流について提案、実現可能性について協議を進めた。また市内在住の高校生2名が同行し、それぞれナショナルチームとの交流に対する期待や、日本の文化の紹介などを英語でプレゼンすることで、当市の熱意と交流に寄せる期待をアピールした。8月30日にはロサンゼルス郡消防救助隊を訪問し、消防本部のトップの方々と面会、震災当時の捜索救助活動に対する感謝を改めて伝えた。(2018年8月27日～9月1日)



市長から全米陸連へ記念品の贈呈



高校生による英語でのプレゼン



ロサンゼルス郡消防本部での協議



全米陸連スタッフとの記念撮影



ディスパッチセンターの見学



ロサンゼルス郡消防本部
オスビー長官表敬訪問

本件の問い合わせ先
大船渡市 生涯学習課 0192-27-3111

ジャンベでつなぐギニア共和国との交流

4 鹿児島県三島村 - 三島村とギニア共和国の子供たちのビデオメッセージの交換 -

- 三島村とギニア共和国（以下、ギニア）は、ジャンベという楽器を通じた交流を20年以上継続。
- ギニアのホストタウンに登録されたことで、ギニアの子供たちとの交流や2020東京大会後の選手との交流を計画する中で、三島村とギニアの子供たちがお互いにビデオメッセージを作り交換する交流事業を実施。
- 三島村の子供たちは、ギニアとの交流やジャンベが広まった経緯を知らなかつたため、今回の取組で交流の経緯を再認識し、ジャンベに取り組む意識も以前より積極的になってきている。



三島村の子供たちのジャンベ演奏



三島村の子供たちからギニアへ



ギニアでビデオメッセージを見る様子



コシニチハ。日本の皆さん、ビデオをありがとう
ギニアの子供たちから三島村へ



三島村でメッセージを見る様子

本件の問い合わせ先
三島村 定住促進課 099-222-3141

中学生たちが自らつなぐラオス共和国との架け橋 5 福島県飯舘村 – 飯舘中学校オリンピック委員会（IOC）の発信 –

- ラオス共和国から教育・スポーツ相を中心とする視察団を受け入れ、パラリンピック水泳選手の19年度事前合宿が決定した。さらに、20年度の事前合宿ならびにオリンピック選手の招聘の実現に向け、引き続きラオスと協議を継続している。
- 中学生たちをラオスとの交流における発信者として育成する目的で、飯舘中学校でメディアクリエーター講座を実施した。その成果として、生徒たちは秋の文化祭で飯舘村の魅力をラオスや日本に発信するポスターを発表したほか、飯舘オリンピック委員会（IOC）総会発表を行った。



飯舘中学校による歓迎



ラオス視察団と飯舘村長と会談



ラオス訪問団による陸上トラックの視察



メディアクリエーター講座



飯舘中学校文化祭ポスター掲示



飯舘中学校文化祭発表の様子

本件の問い合わせ先
飯舘村 総務課企画係 0244-42-1613

台北市でホストタウン交流発表会を実施

6 岩手県野田村 - 台湾陸上選手と野田村の復興する姿を取材したポスター製作 -

- 震災当時に台湾から小中学校に対し、太鼓・管楽器・スポーツ用具の支援を受ける。
- 7月には彰化市管弦楽団を招聘して、「台湾交流演奏会 in のだ」を開催。地元中学生と管弦楽団との合同演奏等を通じて交流した。
- 台湾陸上選手や管弦楽団員、野田村の特産品や復興の状況を取材したポスターを作製した。静岡市と合同で台北市内で開催したホストタウン交流発表会では、作製したポスターを贈呈して台湾への感謝を伝えるとともに、野田村の復興状況・魅力を台湾に向けて発信した。



ポスター製作ワークショップ



台湾の管弦楽団を招聘し、演奏会を開催



演奏会後の交流



静岡市にて合宿中の台湾陸上選手にポスター贈呈



ホストタウン交流発表会



本件の問い合わせ先
野田村 教育委員会事務局 0194-78-2936

台北市でホストタウン交流発表会を実施

7 静岡県静岡市 – 台湾陸上選手と静岡市の魅力ある人を取材したポスター製作 –

- 台湾陸上協会の合宿に係る覚書締結を締結以降、台湾陸上選手との交流を継続的に実施。
- モデルプロジェクトでは、市内の中学生が台湾陸上選手や静岡市で活躍する人、魅力ある人を取材。取材した内容をポスターにまとめ、情報発信を行う。
- 2018年12月には1日に数万人が集まる台北駅地下街で静岡のPRイベントを実施し、ホストタウンの取り組みやポスターについて現地で大規模に発信したほか、野田村と合同でホストタウン交流発表会を実施。イベントには台湾陸上選手などの関係者を招聘し、交流を行った。



合宿のため訪問した台湾陸上選手と交流



台湾陸上選手へのインタビュー



静岡で活躍する人にインタビュー



ポスター完成発表会



台北地下街にポスターを展示



ホストタウン交流発表会

本件の問い合わせ先

静岡市 スポーツ交流課 054-221-1037

多彩な交流事業とパラ選手の事前合宿 8 奈良県橿原市 - 日本語学習ツールをカザフスタンへ、パラ選手を日本に -

- 2019年ならびに2020年に実施を予定しているカザフスタン男子シッティングバレー ボールチームの事前合宿に向けて、市民と選手の交流の端緒を開くとともに、本格的な受け入れに向けての課題の洗い出しを行った。
- カザフスタンにおける橿原市の認知度向上を目的として、日本に関心を持つカザフスタン人向けた日本語学習デジタルツール等を作成したほか、日本庭園の紹介や、現地小学生と橿原市内の小学生の年賀状交換などの多彩な交流事業を展開した。



シッティングバレー選手と子供たちの交流



橿原市の庭師がカザフスタンで造園指導



学生による動画撮影



学生によるだんご店ヒアリング



カザフスタン男子シッティングバレー チーム



ホストタウン交流発表会

カンボジア日本有効学園との交流

9 徳島県 – 徳島商業高校生を中心としたカンボジアの情報発信 –

- 「ホストタウン特使」として任命された生徒が徳島県に合宿に訪れたカンボジアの水泳選手に対する取材を実施し、ポスターや映像を製作。ホストタウンハウスモデルルームで情報発信を行った。
- カンボジアのオリパラ選手が徳島を訪問時におもてなしをする料理を考案するため、徳島の食材（GAP食材）を使ったレシピ作成や試食を実施。
- 12月には、カンボジアの高校生を招聘し、ホストタウンイベントで試作したカンボジア料理やカンボジアの遊び、ホストタウン活動を紹介。4000人を超える徳島県民が来場し、機運上昇につなげた。



映像製作



カンボジア水泳選手・コーチへのコラボ食の紹介



ホストタウンイベント（徳商デパート）
TV等のメディアにも出演



ホストタウンハウスモデルルーム



異文化交流とふるさとの魅力再考

10 島根県邑南町 - 邑南町で事前合宿をすること覚書を調印 -

- ゴールボール・フィンランド代表チームを招き、練習会場や宿泊先を視察。邑南町で事前合宿をすること覚書を調印し決定した。代表チームは、そば打ち体験やハーブ園の視察なども実施した。(2018年10月11日～15日)
- フィンランドへの派遣を行うことで、プロジェクトの目的の達成、参加生徒の意識のグローカル化(海外を知り、外からの目線で邑南町を見ること)を図り、またフィンランドの福祉、教育を学びユニバーサルな意識を向上させた。(2018年12月19日～27日)



地元中高生による邑南町紹介



そば打ち体験の様子



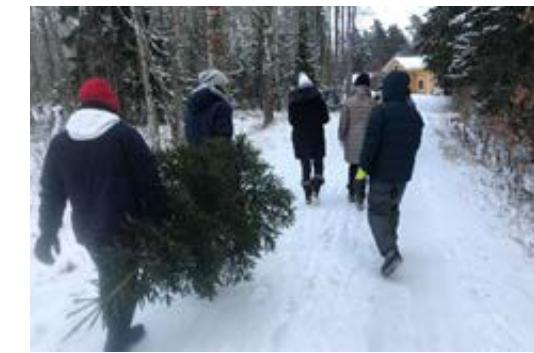
ホームステイ活動



学校訪問による生徒間交流



ゴールボールチーム訪問



フィンランド自然体験活動

本件の問い合わせ先
邑南町 生涯学習課 0855-83-1127

高校生を中心とした相手国との交流・情報発信

11 鹿児島県鹿屋市 – K-GAP食材を使用したメニュー開発と市内への情報発信 –

- タイナショナル女子バレー ボールチームの事前キャンプを受け入れ（2018年7月23日～8月2日）、鹿屋体育大学で体力測定の実施や公開練習試合を行った。7月23日の歓迎レセプションでは、鹿屋中央高校の調理クラブがK-GAP食材を使用したメニューを考案し、選手に提供を行った。
- 鹿屋女子高校の生徒がホストタウンの機運を盛り上げるためのポスターを、鹿屋女子高校及び鹿屋高校、鹿屋中央高校の生徒らでホストタウンの取組やホストタウン相手国タイについて等を紹介した「ホストタウン便り」を作成し、市民へホストタウンの周知を図った。



本件の問い合わせ先
鹿屋市 地域活力推進課
0994-31-1147



多様な障害当事者、事業者と連携した共生社会の推進

12 兵庫県明石市 – 障害当事者参加によるマップ作成・タクシー事業者交流会 –

- 障害のある人にとってもない人にとっても「住み続けたいと思えるまち」であり続けることを目指して、「心のバリアフリー」「ユニバーサルデザインの街づくり」を、行政と市民、事業者が一体となって推進。
- 車いす利用者だ、視覚、聴覚、精神、知的、内部障害等、多様な障害当事者と市民が一緒に街歩きをすることを通じて、障害の有無に関わらず、楽しめるユニバーサルマップを作成
- パラリンピアン等地元の車いす利用者とタクシー運転手との交流研修を実施し、それぞれの困りごとを直接聞くことで、運転手として取り組めることを学んだ。研修中に撮影した映像を編集したビデオを作製し、他の団体へ普及させる。



多様な当事者との街歩き



バリアフリー調査後の振り返り



ユニバーサルマップを作成



タクシー事業者の車いす移乗体験
(別所キミエ選手参加)



車いす利用者とタクシー事業者
の意見交換



研修用ビデオ作成

本件の問い合わせ先
明石市 福祉総務課 078-918-5142

ユニバーサルデザインの街づくりの推進

13 山口県宇部市 – 共生社会ホストタウンサミット開催 –

- パラリンピアンやパラアスリートとの交流により、市民の「心のバリアフリー」の啓発や、ユニバーサルツーリズムの推進に取り組んでいる。
- 共生社会ホストタウン登録自治体同士が連携し、共生社会ホストタウンサミットを宇部市で開催。地元の学生ボランティアも企画・運営に参画し、市民、学生の共生社会の意識を醸成。
- 当事者と市民が街歩きし、公共施設のバリアフリー情報や、障がいのある方でも楽しめる周遊ルートを掲載したマップを作成。マップのチェック・改善のため、障がい者関連団体や観光ボランティア等と連携し、パラアスリートや在留スペイン人をおもてなしするモニターツアーを実施した。



バリアフリー調査



ユニバーサルモニターツアー
(内田峻介選手参加)



バリアフリーマップ

本件の問い合わせ先
宇部市 観光グローバル推進課 0836-34-8353

近隣自治体と連携したユニバーサルデザインの街づくりの推進

14 香川県高松市 - UDポスター作成 -

- 「高松市ユニバーサルデザイン基本指針」を掲げる「おもてなしの心」を取り入れた高松らしいユニバーサルデザインのまちづくりの推進に取り組んでいる。
- 地元パラアスリートとともにまち歩きしながらバリアフリーの情報を掲載したマップや特集記事を作成し、瀬戸内国際芸術祭やオリパラ開催時に多くの障害のある方を受け入れる環境を整備。
- 誰もが安心して快適に生活できるまちであることをPRするため、障がいのある方をモデルにしたポスターを制作。瀬戸・高松広域連携中枢都市圏を構成する市町の、観光地等をポスターのデザインに取り入れるなど、圏域自治体を巻き込みながら、障がい当事者の目線でポスター制作を行う。



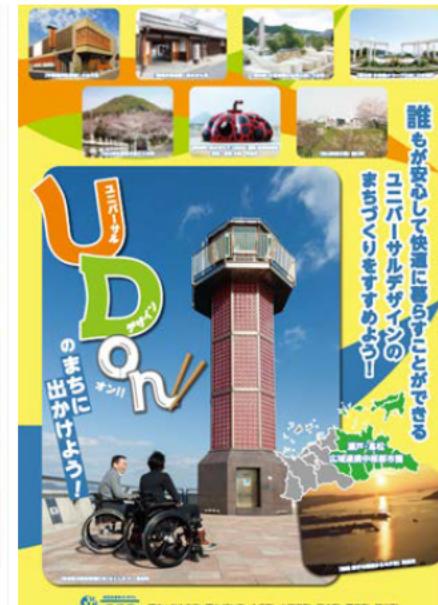
地元パラアスリートとの街歩き



バリアフリーマップ



当事者をモデルにポスター写真撮影



ユニバーサルデザイン
PRポスター

本件の問い合わせ先
高松市 政策課 087-839-2135

商店舗等によるかわさきパラムーブメント実践事業

15 神奈川県川崎市 - かわさきパラムーブメントの推進 -

- 川崎市では誰もが自分らしく暮らし、自己実現を目指せる地域づくりを目指した「かわさきパラムーブメント」という取組を2016年度から進めている。
- 市内の商店舗等が、ハード面又はソフト面のバリアフリー接遇が可能な旨を「かわさきパラムーブメント」のロゴステッカーの店頭での掲出を通じ発信することで、サポートを必要とする障害者等の利用者の利便性向上を図り、「かわさきパラムーブメント」の活性化を目指す取組を実施。
- 併せて市内店舗のバリアフリー対応状況の実地調査（地元のパラリンピック選手にも協力いただき実施）や電話でのモニタリング調査の実施、バリアフリーセミナーの開催等を行った。



本件の問い合わせ先
川崎市市民文化局
オリンピック・パラリンピック推進室
044-200-0529



共生社会実現の促進

16 大分県大分市 – 車いすマラソン選手交流イベント及び「スイスフェア」の開催 –

- 共生社会の実現に向けた取組を推進するため、心のバリアフリーのイベントとして、本年11月に行われる第38回大分国際車いすマラソン大会開催に併せて、車いすマラソン選手学校訪問交流イベント及び共生社会ホストタウンイベントを実施した。（2018年11月16日～17日）
- その他共生社会ホストタウン事業推進に資する取り組みとして、冊子「大分国際車いすマラソン大会における外国人選手に対する接遇の取り組み」を作成し、大分国際車いすマラソン通訳ボランティア「Can-do」の取り組みをまとめた。



大使館職員によるスイス紹介



車いすマラソン選手と地元小学生の
交流



スイスフェアでの文化交流



冊子「大分国際車いすマラソン大会における
外国人選手に対する接遇の取り組み」

本件の問い合わせ先
大分市 障害福祉課 097-537-5658



スイスフェアの開催を告知するチラシ

パラ・パワーリフティングのプレ事前合宿の実施

17 北海道釧路市 - 日本・ベトナム合同合宿と選手と市民の触れ合い -

- パラ・パワーリフティングのベトナム代表選手4名と北海道在住の日本代表選手2名による「日本・ベトナム合同合宿」を実施するとともに、選手と市民の触れ合いの機会として、体験交流会を実施した。(2019年1月26日～29日)
- プレ事前合宿を開催したことで、ベトナム政府スポーツ担当部局及びパラ・パワーリフティングのベトナム代表選手との連携体制や受入体制を構築し、来年度の受入までの課題を抽出することができた。



日本・ベトナム合同合宿での
ベトナム選手練習風景



合同合宿に参加した日本・ベトナム
両国の選手



釧路市丹頂鶴自然公園の視察



日本選手練習風景



選手と市民の触れ合い体験交流会



福祉車両による輸送

本件の問い合わせ先

釧路市 生涯学習部スポーツ課 0154-31-2600

事前合宿施設の視察と調印式・文化交流イベントの実施

18 宮城県加美町 – チリパラリンピック委員会との事前合宿に関する調印式開催 –

- チリパラリンピック委員会とパラカヌー選手、コーチを招聘した。（2019年2月22日～26日）
- カヌーレーシング競技場などの体育施設や宿泊施設の視察を実施。
- 2月25日には「東京2020パラリンピック競技大会事前合宿に関する協定書」を締結する調印式および文化交流イベントを開催。文化交流イベントでは、地元の小学生による和太鼓や金管バンドの演奏、チリの伝統音楽の演奏でお互いの文化に参加した町民約300名が触れた。



練習施設の視察



練習施設の視察



調印式の様子



文化交流イベント（和太鼓）



文化交流イベント（チリ伝統音楽）



文化交流イベントを見学する
パラカヌー選手

本件の問い合わせ先
加美町 体育振興室 0229-69-5113

市内陸上競技場でのトレーニング体験と学校訪問

19 福島県田村市 - ネパールパラリンピック陸上候補選手を招いた交流 -

- ネパールパラリンピック陸上候補選手らを招聘した。(2018年12月17日～19日)
- 陸上競技場では福島パラ陸上協会と合同でトレーニングを実施。
- 市内の美山小学校・たむら支援学校に選手らが訪問し交流事業を実施。美山小学校では、それぞれの国の歌を歌う文化交流とパラスポーツ体験を実施した。たむら支援学校ではバルーンを使って選手と児童の交流を行った。
- 今回の交流をきっかけに、ネパールパラリンピック委員会と事前合宿実現に向け交渉を進めていく。



選手らの田村市役所訪問



陸上競技場でのトレーニング



美山小学校訪問（車いす試乗）



美山小学校訪問（ボッチャ体験）



たむら支援学校訪問（バルーン交流）



たむら支援学校（集合）

本件の問い合わせ先
田村市 教育委員会 教育部 生涯学習部
0247-81-1215

ホストタウン相手国と市民の文化交流

20 岐阜県岐阜市 – スロバキアフェスティバル in Gifu の開催 –

- パラリンピック選手らを招聘し、練習施設の見学や市民との交流事業を実施した。（2019年3月2日～7日）
- 市民との交流事業「スロバキアフェスティバル in Gifu」を岐阜県・駐日スロバキア大使館と共同で開催。スロバキアの民族舞踊や民族楽器フヤラの演奏などスロバキアの魅力を紹介するイベントに市民約350人が参加した。
- 学校訪問では、2つの小学校で合計約200人の児童とパラアスリートがパラスポーツ（ボッチャ、卓球）で交流を行った。



合宿受入施設の視察



スロバキアフェスティバルの様子



スロバキアフェスティバルの様子



スロバキアフェスティバルの様子

本件の問い合わせ先
岐阜市 市民参画部 国際課
058-214-6125



学校訪問

パラアスリート選手とのスポーツ・文化交流

21 福井県福井市 – スロベニア共和国との友好機運醸成を図る交流事業の実施 –

- 福井でパラ水泳に取り組む「チームふくい」の皆さんとの交流・技術 指導などを実施し、将来有望な県内のパラアスリート達に世界のトップ選手と触れてもらう機会を設けた。また、スロベニア訪問団と、本市のアスリートを学校に招き、交流授業等を通じて、多様性への理解や個性の尊重、視野を世界に広げる機会を子どもたちに提供した。さらに、両者がホストタウン関係となるきっかけとなった共通点「そば」「水仙」に関連した観光体験を通じ、福井の歴史や文化に対する理解を深めていただいた。（2019年1月15日～19日）



そば打ち体験の様子



パラ水泳ヘッドコーチからの指導



パラ水泳代表選手からの指導



水仙のハーバリウムづくり



中学校での車いす体験



スロベニア料理の学校給食で交流

本件の問い合わせ先
福井市 総合政策課 0776-20-5283

市特産のリンドウ栽培を通じた交流

22 岩手県八幡平市 – 市の花リンドウの海外展開を目的とした栽培指導 –

- 八幡平市のリンドウ生産者及び担当市職員がルワンダを訪問し、現地での栽培状況を確認のうえ、現地生産者に対する栽培指導を行った。また、現地生産者の研修生受入の可能性調も実施した。また、ルワンダの農業省政府高官と直接意見交換することができ、リンドウ生産の啓発及び現状、現地での栽培状況を把握とともに、市オリジナル品種に関する基本契約を現地法人と調印した。（2019年1月9日～15日）



オリンピック組織委員会表敬訪問



ルワンダ政府農業省訪問意見交換



現地圃場状況確認



栽培指導の様子



八幡平市オリジナル品種に関する
基本契約書の調印式

本件の問い合わせ先
八幡平市 地域振興課 0195-74-2405

山田産食材を活用したオランダ料理の開発

23 岩手県山田町・佐賀県 – 料理開発を通じた食文化の相互理解で交流を深める –

- 山田風オランダ料理の開発に係り、フードコーディネーター、調理人が在日オランダ人へ料理の指導を仰ぐため実施、サンプルを持ち込み、実際にオランダ人からアドバイスを受けた。
- また、アレンジ料理を作成する前に、オランダ料理というものを町民へ周知させるべく料理教室を実施し、参加者からアレンジに対してアドバイスをもらい、それを基にレシピを完成させ、オランダ大使館で、開発した料理を提供した。



料理開発検討会議の様子



山田町でのオランダ料理教室



町民による試食の様子



オランダ大使館での開発料理提供



オランダ大使館での
山田町紹介時様子



有田焼に盛り付けされた
大使館で出された料理

本件の問い合わせ先
山田町 生涯学習課 0193-82-5505

インドネシア共和国訪問

24 宮城県気仙沼市 - 大会後の相互交流について提案・協議 -

- 市長及び市職員3名がインドネシア共和国を訪問し、震災時に頂いた復興支援への感謝を伝え、支援により完成した気仙沼図書館の状況を報告するとともに、相互の交流について提案・協議を行い、大会後にインドネシアのオリンピック・パラリンピックの選手関係者との交流を要請した。
- あわせて、ジャカルタ市内で日本政府観光局が開催している「Japan Travel Fair 2018」の視察を行った。

(2018年10月12日～16日)



震災後（平成23年6月）本市を訪問されたユドヨノ大統領ご夫妻



市長によるインドネシア表敬訪問



平成30年3月落成の気仙沼図書館
(児童図書エリア「ユドヨノ友こども館」)



交流事業について意見交換を実施



インドネシアパラリンピック関係機関訪問

本件の問い合わせ先
気仙沼市 生涯学習課 0226-24-6488